

～喜びって何色？みんな違ってみんないい～

にじ組のスローガンも決定し、リレーやチーム対抗ゲームでは「チーム」として友だちとの絆が少しずつ深まり始めています。「にじ組五輪」も完成し、五輪を通し、運動会に向けて同じ目標を持ち取り組んでいます。そんな中、「喜びの色変えよう」という意見が出ました。前回のサークルタイムでは喜びが黒色となりましたが、黒色ということに違和感があったようです。しかし、中には黒で良いと思っていた子もいるかもしれません。そこで、もっと子どもたちの思いが詰まった五輪になってほしいのではと思い、「喜びってどんな色？」とみんなで意見をだしあうことにしました。

「よろこび」って何色？



子どもたちからはピンク・オレンジ・黄・黄緑・水色・紫と様々な「喜びの色」が提案され、「じゃあ、五輪の喜びの色はどうする？」という話題になりました。そんな中、紫色が提案された際にA君が「紫って悲しい色な感じがする」と言いました。A君は友だちとの感じ方の違いに気づいたようです。そこで、「**A君は紫色って悲しい色やと思うんやね。でも、紫色が嬉しい色って感じる子もいるね。みんな、色んな考えがあって面白いね。**」と保育者は声を掛けました。

すると、M君が「みんなから出たぜんぶの色にしたらいんじゃない？」と提案をしました。

確かに！一つの色に絞らず、みんなの提案した色にするなんて素敵！！(保育者の心の声)

M君の提案を聞き、「それがいい！」「みんなの意見入っておるしね」「虹みたいにしよう！」とみんな大賛成。自分の思いと違う思いもあるということに気付く中で、友だちの意見の良さに気づいたり、自分の思いと折り合いをつけたりしていました。

今回の話し合いでは、「みんな様々な思いがある。そしてどれも間違っていない。みんな違ってみんないい」という事に気付けたらと思っていたので、A君の発言がそのことに気づききっかけとなってくれました。

子どもたちのすてきなアイデアがにじ組オリジナルの素敵な五輪となりました！！

